

卒業文集最後の二行

【資料について】

小学校時代にT子さんへのいじめを繰り返した自分の非情な行為を、三十年以上経た今でも深い心の傷として後悔するざんげの手記。



私 (イチノヘ)



T子

「いじめ」をしないために、これから私たちは
どんな生き方をすればいいのだろうか？

- ・悪いことに流されず、自己中心的な発言や行動をやめる。みじめな生き方をしない。
- ・相手がイヤだと思うことをしないように、相手のことを知り、相手のことを考えて行動できるようにしたい。
- ・注意し合わなければならない。 ・相手の気持ちをしっかり考える。
- ・周りに流されない。 ・たくさんの人のいろんなところを認めていく。
- ・自分が大丈夫だと思っても相手には悪く伝わったりするから、言葉には十分気をつけたい。
- ・一人ひとりの生き方はそれぞれ違うから、それをふまえて生きていく。
- ・人の気持ちをよく考えて思いやりをもって行動する。 ・人の悪口や殴ったりせずに仲良くいきしていきたい。
- ・自分が相手のことがわからないから、しっかりと考えて行動して生きていけばいいと思う。
- ・「自分が言われてイヤなことを人にしない」という考えをもって行動していこうと思いました。
- ・汚い考え方をしない。人よりも上に立とうとしすぎない。傲慢な考えをやめる。
- ・相手と自分を比べるのではなく、互いに尊重し、わかり合うことでいじめは起こらないと思う。
- ・見た目や外見で判断しない。悪い言葉のまま言わず、ポジティブな言葉の発言をする。
- ・された側はいつまでたっても記憶に残っているので気をつけたい。
- ・「どこからがいじめ」とか考えたことが無かったので、絶対にしません。
- ・相手の気持ちをより深く考えて、互いに成長できるような関係をつくっていききたいと思いました。
- ・過度なプライドを持たないようにする。できるかぎり相手の良いところを見つける。
- ・人に流されず、相手の意見も否定せず、人が悲しそうにしていたら見て見ぬふりをするのではなく、話を聞いたりする。
- ・相手のことを認め、尊敬しあう生き方。 ・相手に危害を加えない。 ・自分と違っていても否定しない。
- ・いじめは自分がどんな善意でとった行動でも、相手の受け取り方次第で変わると知ることができた。これからは自分の行動が相手にどう影響するのかを考えて生きていきたい。



- ・相手のいやがることをせず、相手の気持ちを考える。
- ・授業を受け、自分の都合で相手を傷つけるのはダメということを再認識しました。友達と関わる時は、相手の気持ちを考えた上で関わっていききたい。
- ・決して人のイヤなことを言わず、自分が言われてイヤなことを言わない。
- ・人それぞれ感じ方が違うから、イヤな思いになるなり方が違う。発言、行動に気をつけたり、その人のことをよく観察したりする。
- ・心が貧しくならないよう生きていきたい。
- ・人と比べたり、誰かより上に立ちたいと考えるのではなく、自分自身と向き合うことが大切だと思った。